

山中柔道部が団体戦と個人戦で入賞

団体戦での優勝は31年ぶりの快挙

7月15日と16日、岩手県営武道館（盛岡市）で行われた柔道競技では、山田中学校柔道部が団体戦で31年ぶりとなる優勝を果たし、全国大会への出場を決めました。当日、中堅を務めた山崎寛樹君（3年）は「自分たちの代で優勝を成し遂げることができてうれしいです」と笑顔を見せました。

また、個人戦では1人が優勝、3人が3位に入賞しました。男子60^キ級で優勝を果たしたのは箱石扉君（3年）。「優勝する自信はありました。全国大会はさらにレベルが高い相手に勝てるようにがんばります」と力

を込めます。

同じく、55^キ級で中村大拓君、73^キ級で山崎君が3位に入賞しました。「準決勝では悔しい思いをしました。東北大会ではさらに上を目指します」と中村君。山崎君は「東北大会には自分の課題を克服して臨みます」と、2人とも早速次を見据えています。

女子52^キ級では荒田葉月さん（2年）が3位に入賞。「うれしかったけど、一本を取る試合ができませんでした」と、悔しさをにじませながらも「次は1位を目指します」と闘志を燃やしていました。

女子52^キ級では荒田葉月さん（2年）が3位に入賞。「うれしかったけど、一本を取る試合ができませんでした」と、悔しさをにじませながらも「次は1位を目指します」と闘志を燃やしていました。



優勝を果たした男子団体



左から荒田さん、中村君、箱石君、山崎君

魅せた脚力、掴んだ栄光

山田中陸上部の3人が入賞

7月15日から17日にかけて、県営運動公園陸上競技場（盛岡市）で行われた陸上競技では、山中陸上部の3人が入賞しました。女子走り幅跳びでは、湊莉子さん（3年）が優勝を果たしました。

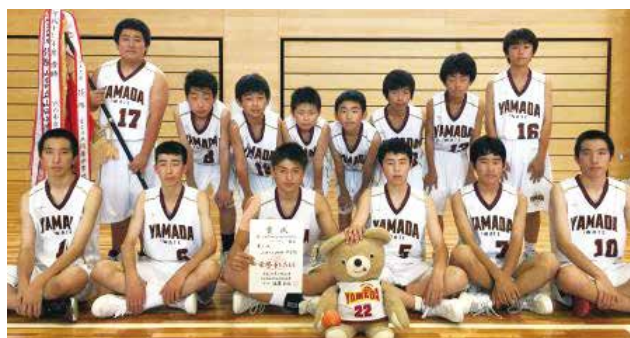


左から福士さん、湊さん、西川君

「前回の大会のリベンジができました」と喜びを話します。男子走り幅跳びでは西川直哉君（3年）が2位に入賞。また、西川君は今大会で東北大会出場の条件を満たしました。「2位入賞はうれしいけど目標の記録は出せなかった。東北大会では6^{メートル}以上の記録を出してベスト8に入りたいです」と、次の舞台に向けて意気込みました。女子100^{メートル}走では、福士莉那さん（3年）が5位に入賞。「今まではあと一步のところの入賞を逃していたのでうれしいです」と話していました。

日々の練習の成果を発揮

山中男子バスケが準優勝



準優勝した男子バスケ部

7月15日から17日にかけて一関市総合体育館（一関市）ほかで行われたバスケットボール競技で、山田中男子バスケットボール部が準優勝しました。キャプテンを務める今井星矢君（3年）は「しっかりとディフェンスをして、そのリズムをオフェンスにつなげる練習をしてきました。その成果を今大会で発揮できたと思います」と話します。次なる東北大会については「今回の決勝戦では悔しい思いをしたので、悔いを残さないように全力でプレーします」と意気込みました。